



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 天馬株式会社  
 コード番号 7958 URL <http://www.tenmacorp.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 藤咲 雄司  
 (氏名) 堀 隆義

TEL 03-3598-5515

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	60,629	10.4	3,276	80.2	4,068	44.7	3,169	△0.2
27年3月期第3四半期	54,926	6.5	1,818	△7.0	2,811	△11.1	3,175	17.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 818百万円 (△80.7%) 27年3月期第3四半期 4,247百万円 (△29.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	129.71	—
27年3月期第3四半期	124.58	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	88,608	73,491	82.9	3,045.54
27年3月期	90,669	75,198	82.9	3,022.77

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 73,490百万円 27年3月期 75,198百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,700	7.4	3,800	42.0	4,600	10.3	3,900	2.1	160.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	28,813,026 株	27年3月期	28,813,026 株
② 期末自己株式数	4,682,514 株	27年3月期	3,935,901 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24,429,220 株	27年3月期3Q	25,481,515 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)におけるわが国経済は、輸出が伸び悩みましたが、雇用情勢の改善を背景に個人消費が持ち直し、設備投資も良好な企業収益を背景に増加したこと等により、緩やかな回復傾向を辿りました。

一方、世界経済は米国で着実に景気回復が続き、欧州でも緩やかな景気回復が見られましたが、中国をはじめとする新興国では景気減速の状況となり、先行き不透明感が高まっております。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上高が、国内において個人消費の持ち直しを背景に増加し、工業品合成樹脂製品分野の売上高は、海外において電機電子を中心に増加しました。

この結果、売上高は606億29百万円(前年同期比110.4%)となりました。

利益面につきましては、売上増等により営業利益が32億76百万円(前年同期比180.2%)となり、経常利益は前年同期との比較では投資有価証券売却益が減少したこと等により40億68百万円(前年同期比144.7%)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に発生した川口の工場跡地売却益のような多額の特別利益がなかったこと等により31億69百万円(前年同期比99.8%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野は、新製品販売の好調に加え個人消費の持ち直し等により売上高が前年同期比増加しました。一方、工業品合成樹脂製品分野は、取引先の生産海外シフトに起因する電機電子等の受注減により売上高が減少しました。利益面は、売上増加と原価改善等により前年同期比増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は、182億31百万円(前年同期比104.0%)となり、セグメント利益(営業利益)は20億36百万円(前年同期比259.0%)となりました。

#### (中国)

中国においては、上海天馬精塑有限公司でハウスウエア合成樹脂製品分野の売上が伸長し、天馬精密注塑(深圳)有限公司で業績が順調に推移しましたが、天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司では取引先の他国への生産シフト等により厳しい状況が続きました。

この結果、当セグメントの売上高は、215億35百万円(前年同期比107.7%)となり、セグメント利益(営業利益)は9億77百万円(前年同期比91.1%)となりました。

#### (東南アジア)

東南アジアにおいては、インドネシアのPT. TENMA INDONESIAが同国の景気低迷により、苦戦を余儀なくされましたが、ベトナムのTENMA VIETNAM CO., LTD.の業績が伸長し、タイのTENMA (THAILAND) CO., LTD.では、新設の第2工場の稼働率が向上し、業績に貢献しました。

この結果、当セグメントの売上高は、208億63百万円(前年同期比119.9%)となり、セグメント利益(営業利益)は9億47百万円(前年同期比153.0%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて20億61百万円減少し、886億8百万円となりました。これは、現金及び預金が16億25百万円増加しましたが、機械装置及び運搬具(純額)が16億5百万円、投資有価証券が10億85百万円、原材料及び貯蔵品が3億82百万円、それぞれ減少したこと等によります。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億53百万円減少し、151億18百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が4億59百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて17億8百万円減少し、734億91百万円となりました。これは、利益剰余金が21億85百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が17億47百万円、その他有価証券評価差額金が5億74百万円、それぞれ減少し、控除項目である自己株式が15億42百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第3四半期連結累計期間の業績は、平成27年11月6日に公表いたしました修正後の通期業績予想を上回るペースで進捗しております。しかし、中国をはじめとする新興国の景気減速、中東等の地政学的リスク、株価や為替の乱高下等、当社を取り巻く経営環境は先行き不透明感が高まっていますので、平成27年11月6日に公表いたしました業績予想を変更せず、この達成に努めてまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,966,381	30,590,902
受取手形及び売掛金	15,363,740	15,859,198
商品及び製品	2,591,236	2,314,963
仕掛品	583,891	613,037
原材料及び貯蔵品	3,721,505	3,339,982
繰延税金資産	211,276	185,191
その他	1,972,562	1,801,468
貸倒引当金	△11,949	△12,214
流動資産合計	53,398,641	54,692,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,925,559	9,647,761
機械装置及び運搬具(純額)	11,465,663	9,860,424
その他	2,936,440	2,828,548
有形固定資産合計	24,327,662	22,336,733
無形固定資産	3,306,246	3,152,526
投資その他の資産		
投資有価証券	7,962,456	6,877,429
長期貸付金	77,500	—
退職給付に係る資産	1,135,439	1,146,370
繰延税金資産	120,193	4,452
その他	429,878	417,506
貸倒引当金	△89,050	△19,435
投資その他の資産合計	9,636,416	8,426,322
固定資産合計	37,270,324	33,915,581
資産合計	90,668,965	88,608,108
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,067,350	9,608,179
未払法人税等	389,203	540,052
賞与引当金	777,476	654,195
その他	3,066,202	3,178,679
流動負債合計	14,300,231	13,981,105
固定負債		
役員退職慰労引当金	210,647	210,341
退職給付に係る負債	167,807	207,804
資産除去債務	20,198	19,911
繰延税金負債	771,900	698,441
固定負債合計	1,170,551	1,136,498
負債合計	15,470,783	15,117,604

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	33,536,075	35,720,663
自己株式	△5,251,910	△6,793,684
株主資本合計	66,434,014	67,076,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,885,535	2,311,356
為替換算調整勘定	5,421,572	3,674,697
退職給付に係る調整累計額	456,816	427,496
その他の包括利益累計額合計	8,763,923	6,413,549
非支配株主持分	244	127
純資産合計	75,198,182	73,490,505
負債純資産合計	90,668,965	88,608,108

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	54,925,637	60,629,287
売上原価	46,263,583	49,928,107
売上総利益	8,662,054	10,701,179
販売費及び一般管理費	6,843,831	7,424,929
営業利益	1,818,223	3,276,250
営業外収益		
受取利息	130,902	186,291
受取配当金	174,402	178,392
投資有価証券売却益	518,141	355,473
為替差益	153,049	13,687
その他	147,124	129,936
営業外収益合計	1,123,618	863,779
営業外費用		
売上割引	62,708	64,004
開業費償却	31,840	4,011
その他	35,993	3,959
営業外費用合計	130,540	71,973
経常利益	2,811,301	4,068,056
特別利益		
固定資産売却益	846,604	16,187
会員権売却益	—	8,743
特別利益合計	846,604	24,930
特別損失		
固定資産売却損	5,703	2,961
固定資産除却損	7,704	2,834
投資有価証券評価損	4,000	—
関係会社清算損	13,340	—
特別損失合計	30,748	5,795
税金等調整前四半期純利益	3,627,157	4,087,191
法人税等	452,556	918,488
四半期純利益	3,174,601	3,168,703
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	10	△15
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,174,591	3,168,717

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	3,174,601	3,168,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,678	△574,179
為替換算調整勘定	1,131,227	△1,746,907
退職給付に係る調整額	△5,690	△29,320
その他の包括利益合計	1,072,858	△2,350,406
四半期包括利益	4,247,459	818,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,247,439	818,343
非支配株主に係る四半期包括利益	20	△46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月29日開催の取締役会において、自己株式を取得することを決議し、平成27年7月3日付け(約定日 平成27年6月30日)で、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、自己株式746,300株を取得いたしました。

この結果、自己株式は単元未満株式の買取と併せ、当第3四半期連結累計期間において1,541,774千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において6,793,684千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,534,380	19,993,697	17,397,561	54,925,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	107,503	64,195	—	171,698
計	17,641,883	20,057,892	17,397,561	55,097,336
セグメント利益	786,283	1,072,468	618,498	2,477,249

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,477,249
セグメント間取引消去	18,998
全社費用(注)	△678,023
四半期連結損益計算書の営業利益	1,818,223

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	18,230,838	21,535,043	20,863,406	60,629,287
セグメント間の内部売上高 又は振替高	124,858	87,426	116	212,399
計	18,355,695	21,622,469	20,863,521	60,841,686
セグメント利益	2,036,151	977,257	946,598	3,960,006

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,960,006
セグメント間取引消去	3,978
全社費用(注)	△687,733
四半期連結損益計算書の営業利益	3,276,250

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。